

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 言語学

試験科目 言語学 科目

以下の問 1 から問 4 に答えなさい。答案用紙は 1 問につき 1 枚とします。

問 1

「すし」や「示唆(しさ)」などの発話にあらわれる[s]と[ɕ]は日本語において異なる 2 音素ですか、それとも同一音素の 2 異音ですか。あなたの考えを具体例を用いて答えなさい。

問 2

日本語の動詞には「いる」や「ある」を構成要素とするものがあります。以下の例を参考に、動詞の構成要素としての「いる」「ある」がそれぞれ持つ意味について述べなさい。

- 泳いでいる ×泳いである
- 座っている ×座ってある
- 読んでいる ○読んである
- 書いている ○書いてある
- 壊れている ×壊れてある
- 割れている ×割れてある

(×は、通常は使用されないことを示す。)

問 3

進行中の言語変化について、音声・音韻的側面および形態・統語的側面から、具体例をあげて論じなさい。

問 4

以下の術語のうち 2 つを選び、それぞれ 4 行程度で説明しなさい。

- 語根 (root)
- クレオール (creole)
- 音象徴 (sound symbolism)
- 言語記号 (linguistic sign)

大学院入学試験問題
(一般入試)・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語学

試験科目 日本語学 科目

(一) 次の項目のうち、五つを選んで知るところを述べなさい。

- ① ソシユール
- ② 機能語
- ③ テンス
- ④ 文節
- ⑤ ローマ字
- ⑥ ジョアン・ロドリゲス
- ⑦ 開合
- ⑧ シソーラス

(二) 日本語についてジェンダーとの関わりから論述しなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試)・社会人入試

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語学

試験科目 古文解釈 科目

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送付について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

次の文章は、明治十四年に『東京日日新聞』社説に掲載された、福地源一郎「文章論」である。
枠内について、日本語史・日本語学史の知識を補足しながら現代日本語に訳しなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試)・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語学

試験科目 日本語資料解説科目

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送付について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

次の資料は、ある著名な文献資料の一部である。これについて知るところを述べなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

次の問題 1～問題 6 の中から 4 問を選び、解答しなさい。解答は問題番号とともに答案用紙に書きなさい。答案用紙は 1 問につき 1 枚を使用すること。

問題 1 以下の複合語の前項要素と後項要素の関係を説明し、その語を使って文を作りなさい。また、同様の関係にある語をそれぞれ二つ以上挙げなさい。

- (1) 種まき
- (2) 事故死
- (3) 値上り
- (4) 栓抜き
- (5) 絵描き

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目

科目

問題2 次の各例文における「ものだ」について、同じ意味・機能の「ものだ」の例文を1つ考えて、挙げなさい。また、それぞれどのような意味を表しているかを説明し、当該の意味を表すときの構文論的な特徴（主語や述語などの特徴）についても説明しなさい。

- (1) あの子もずいぶん大きくなったものだ。
- (2) この装置は穀物を砕いて粉にするものだ。
- (3) そういう時は、素直にあやまるものだ。
- (4) どんな人でも失敗はするものだ。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問題 3 次の問いに答えなさい。

(1) 次の a～d の文の格助詞の意味の違いを説明しなさい。

- a. 私は東京 {に/へ} 行った。
- b. 私は彼 {に/から} 本をもらった。
- c. 私は日本 {に/で} 旅行した。
- d. 私は彼 {に/を} 教えた。

(2) 日本語教育で上の a～d の格助詞「に」の意味を、どのようなことに留意して教えたらよいかを述べなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問題 4 日本語話者は英語話者と比べ、会話中にあいづちを打つ頻度が 3 倍近く高いと報告されている。この現象を説明するものとして、「日本人は集団主義的で、会話においても他者との協調を重んじるのに対し、英語圏の話者は個人主義的で、自己と他者が対立した形でコミュニケーションが行われる」といった説明がなされることがある。しかし、会話中のふるまいと文化的価値観を結びつけるこうした説明は、「文化的ステレオタイプ」を助長するものであると批判されることもある。コミュニケーションにおける言語行動の分析を、文化的ステレオタイプの生成に陥らない形で行うためにはどのような点に留意すべきか、思うところを述べなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問題 5 次の(1)～(4)から2つ選んで、具体例を挙げながらそれぞれ300～400字程度の日本語で解説しなさい。

- (1) 発話内行為 (illocutionary act)
- (2) 挿入連鎖 (insertion sequence)
- (3) 一般的会話の含意 (generalized conversational implicature)
- (4) 適切性条件 (felicity conditions)

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問題 6

1) 以下の (1) ~ (3) の下線部の語は、メタファーに基づいて、a から b へと意味が拡張していると考えられる。(1) ~ (3) それぞれについて、メタファー成立の基盤を示して、その拡張の動機づけを説明しなさい。

- (1) a 最近台所がにおう。ちゃんと掃除しなくちゃ。
b 冷蔵庫に入れておいたケーキがない。どうも弟がにおう。
- (2) a 今人気のスイーツを買ってきた。味わって食べよう。
b 好きな小説家の新作を買ってきた。味わって読もう。
- (3) a 隣の部屋の人のゲームの音が夜中までうるさい。
b うちの父は行儀にうるさい。

2) メタファーについて知っていることを、例を挙げながら述べなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 応用日本語学

試験科目 科目

※以下の問題 1 は全員解答すること。解答はすべて別紙の答案用紙に日本語で記すこと。

問題 1 以下の (1) ~ (7) の中から 4つ を選び、説明せよ。その際、必要であれば具体例をあげること。

- (1) プロジェクトワーク
- (2) ミニマルペア練習
- (3) パフォーマンス評価
- (4) 明示的知識と暗示的知識
- (5) 夜間中学校
- (6) 拘束形態素と自由形態素
- (7) 隣接ペア

※以下の問題 2 ~ 4 の中から 2問 を選び、解答すること。解答はすべて別紙の答案用紙に日本語で記すこと。答案用紙は 1 問につき 1 枚使用すること。答案用紙には、選んだ問題の番号を記入すること。

問題 2 学習者が第二言語を学習するときに、学習者の言語にいくつかの発達段階があると言われている。学習者の第二言語は一定の段階を踏んで目標言語に近づくが、その中で「U字型発達」と呼ばれる習得過程の特徴について例をあげながら述べよ。

問題 3 「インストラクショナル・デザイン」とはそれぞれの学習環境において教育効果を高めるための設計であり、教材開発においてはニーズの分析、デザイン、開発、実施、評価の 5 つの手順をサイクルとして設計する。日本語教育において、ビデオを使用した教材作成の場合、インストラクショナル・デザインの観点から、授業全体の中でビデオ教材が果たす役割を設定して教材を開発する必要がある。それぞれの手順において、どのような点に注意して設計すべきかを述べよ。

問題 4 以下はある新人日本語教師の語りである。日本語教育、日本語教授法、教育学等の観点から問題点を指摘し、改善のためのアドバイスを述べよ。

先日、日本語教師になって、初めての授業があった。教科書の担当箇所について、あらかじめしっかりと目を通し、扱われている文法項目については、参考書を読んでしっかり勉強して臨んだ。文法項目の説明の仕方についてもしっかり考えて臨んだ。授業本番では少し緊張したが、あらかじめ考えていた通りに説明することができた。授業時間をたっぷり使って、十分に説明したつもりだった。特に質問も出なかったため、受講者は十分に理解できたと思った。ただ、多くの受講者があまり面白くなさそうに見えて、寝ている受講者もいた。授業の最後に、確認のための文法小テストを行ったが、ほとんどの受講者は半分ぐらいしか正解できていなかった。どうすればよかったのだろうか。